

経済金融動向 (2017年3月)

みずほ総合研究所 経済調査部

景気は緩やかに回復

2月の輸出数量指数(みずほ総合研究所による季節調整値)は前月比+3.3%(1月同0.0%)と、3カ月ぶりに上昇した。一般機械などがプラスに寄与し、米国・EU・アジア向けがそろって上昇した。先行きについては、世界経済の緩やかな回復やITサイクルの改善に伴い、輸出は回復基調を維持するだろう。

2月の鉱工業生産指数は前月比+2.0%(1月同▲0.4%)と、プラスに転じた。輸送機械工業やはん用・生産用・業務用機械工業などがプラスに寄与した。生産計画では4月に大幅な増産が見込まれているが、主因のはん用・生産用・業務用機械は計画の実現率が下振れしやすいことから、実際には緩やかな増産となる見込みだ。

業況判断は改善

日銀短観(3月調査)は、大企業・製造業の業況判断DIが+12%Pt(12月調査: +10%Pt)、大企業・非製造業が+20%Pt(同: +18%Pt)と、前回調査からともに改善した。製造業では、はん用機械、生産用機械や自動車などの加工業種から、化学、鉄鋼などの素材業種まで全般

的に改善した。非製造業では、通信業などが一部悪化したものの、卸売業、小売業や対個人サービス業などが上昇したことから、全体では改善した。

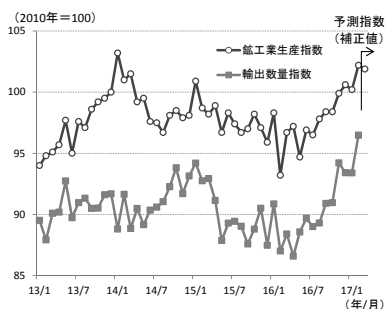
先行きは、大企業・製造業が+11%Pt、非製造業が+16%Ptといずれも悪化の見通しとなった。製造業では、米国のトランプ大統領の政策動向や欧州の選挙など海外情勢の先行きを慎重にみているようだ。非製造業では、エネルギー価格上昇を背景に家計の節約志向が高まる可能性が意識されたとみられる。ただ日銀短観のクセとして、景気回復局面では先行きに慎重になる傾向があるため、過度に悲観的にとらえる必要はないと考えている。

個人消費は持ち直しつつある

2月の消費活動指数(旅行収支調整済)は前月比▲0.1%(1月同+1.1%)と小幅なマイナスとなったが、1~2月平均でみると10~12月期比+0.5%と回復が続いている。実質消費支出(家計調査)も、前月比+2.5%(1月同+0.5%)と2カ月連続で増加し、10~12月期の落ち込みから持ち直しつつある。

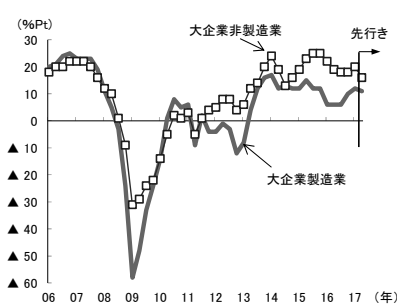
先行きも消費は回復が続く見通しであるが、円安による日用品の値上がりが下押しするリスクには注意が必要だ。

鉱工業生産・輸出数量指数



(注) 輸出数量指数は、みずほ総合研究所による季節調整値。
(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、財務省「貿易統計」、みずほ総合研究所作成

大企業・業況判断DI



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より、みずほ総合研究所作成

	鉱工業生産	第3次産業	機 械 注	失業率	消 費 活 動	小 売 販 売	住 宅 着 工	貿 易 統 計	貿 易 統 計	企 業 物 価	消 費 者 物 価
	前期比 %	前期比 %	前期比 %	%	前期比 %	前期比 %	戸 数	輸出額	輸入額	(国内) 前期比 %	(全国) 前期比 %
2014年度	▲ 0.5	▲ 1.1	0.8	3.5	▲ 2.2	▲ 1.2	88.0	5.4	▲ 1.0	2.8	2.8
2015年度	▲ 1.0	1.4	4.1	3.3	0.1	0.8	92.1	▲ 0.7	▲ 10.2	▲ 3.3	0.0
2016/03	1.2	▲ 0.3	1.4	3.2	0.3	0.3	98.2	▲ 6.8	▲ 14.8	▲ 4.0	▲ 0.3
04	0.4	0.3	▲ 6.4	3.2	▲ 0.1	0.3	98.5	▲ 10.1	▲ 23.1	▲ 4.4	▲ 0.4
05	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 2.2	3.2	0.2	▲ 0.3	100.1	▲ 11.3	▲ 13.7	▲ 4.6	▲ 0.4
06	1.5	0.5	7.1	3.1	▲ 0.4	0.0	98.8	▲ 7.4	▲ 18.7	▲ 4.5	▲ 0.4
07	0.0	0.1	5.6	3.0	1.1	1.6	99.6	▲ 14.0	▲ 24.6	▲ 4.2	▲ 0.5
08	1.3	0.1	▲ 5.9	3.1	▲ 0.7	▲ 1.7	96.1	▲ 9.6	▲ 17.0	▲ 3.8	▲ 0.5
09	0.3	▲ 0.2	0.3	3.0	0.4	0.5	98.1	▲ 6.9	▲ 16.1	▲ 3.3	▲ 0.5
10	0.3	0.1	3.4	3.0	0.5	2.4	98.1	▲ 10.3	▲ 16.3	▲ 2.7	▲ 0.4
11	1.0	0.2	▲ 2.8	3.1	0.0	▲ 0.7	95.4	▲ 0.4	▲ 8.7	▲ 2.3	▲ 0.4
12	0.7	▲ 0.1	2.1	3.1	▲ 0.8	▲ 0.7	92.3	5.4	▲ 2.5	▲ 1.2	▲ 0.2
2017/01	▲ 2.1	▲ 0.2	▲ 3.2	3.0	1.1	0.2	100.1	1.3	8.4	0.5	0.1
02	3.2	0.2	1.5	2.8	▲ 0.1	0.3	94.0	11.3	1.2	1.1	0.2

注: 1. 機械受注は船舶・電力除く民需。
2. 消費活動は実質ベース、旅行収支調整済。

3. 住宅着工は年率換算の季節調整値。
4. 消費者物価は生鮮食品除く総合。